

その他の建設業－その他における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14～15	台所に450角の天検口を取り付し、作業を終了後、作業所の片付けをしていた。作業所内の便所を出る時、段差（23cm）を右足を下ろした時に捻挫したと思っただが、腫れが生じ、右足首のくるぶしの下と小指のつけ根を骨折していることが判明した。	49	—
1	14～15	解体現場にて解体作業中、1500cm～2000cmほどのコンクリート塀が倒れてきて、両手で支えたが重さに耐えられず、手をはなして逃げようとしたが、塀が倒れて足を挟まれ負傷した。	19	1～9
3	14～15	店舗解体工事現場で2F天井のケーブルラック撤去作業中に、ラック上のケーブルを引っ張ったところ吊具が外れ、ケーブルラックが落下してヘルメットのつばをかすめ、上唇にあたり、脚立2段目より右腕をつく様に落下し、右橈骨骨折、上あごの前歯が1本折れる負傷をした。	59	10～29
3	12～13	解体現場にて内装材撤去中、2階の床が抜けて1階床に落下し、背中を打ちつけた。	19	1～9
4	14～15	プレハブ解体現場で最後の鉄骨バラシの際、鉄骨支えの準備中強風で鉄骨が倒れ、下敷きになり打撲した。（鉄骨の柱のアンカーボルトが腐っていた。）	31	1～9
4	11～12	当社賃貸契約の宿舍（4LDK、1軒屋）の整備作業中に、宿舍のブロック塀を乗り越え着地の際に左足を負傷した。	57	10～29
4	19～20	現場から会社に帰ってきたあと、会社の駐車場で車から道具を持って降りる際に転倒して右手を骨折した。	46	1～9

5	10～ 11	お客様宅へ見積りに行く途中、高さ30cm位のブロック壁を乗り越える時に躓いて左肩より転倒した。	41	1～ 9
7	14～15	2階建住宅の解体工事現場において、飛散防止のメッシュシート（180cm×360cm）を掛ける作業中、組んであった単管パイプ（直径5cm長さ4m）に乗りシートを掛ける際に、足を滑らせ、5～6m位の高さから転落した。一度鉄製物置の屋根（高さ2.5m）に落ち、その後1m位の高さの単管パイプに当たり、地面に落ち体を打ち負傷した。（ヘルメットは着用）。事故後直に救急車で搬送された。	73	1～ 9
7	17～ 18	現場作業から戻り、会社倉庫にて、設備工事の際に腰に引っ掛けて使う各種道具を、各棚に後片付けしていたところ、会社倉庫の段差に躓いて右足を引っ掛け、足首を伸ばした。	40	1～ 9
7	9～ 10	工場の3号キルンEP出口ダクトにて、修理箇所の点検をするため、被災者と製造係員の2名でダクトの内部に入った。被災者が整流板横を通って隣のダクトに移動しようとしたとき、幅約200mmの直管部を歩行中に足を滑らせ、3.6m下のルーバーダンパー上に転落した。点検作業時、被災者は安全帯を着用していたが未使用であり、親綱もなかった。また、ダクト内は照明がなく、足元が暗かった。	68	10～ 29
10	8～9	2世帯住宅の2階浴室改修において、システムバス組立作業中、直下の1階浴室荷重をかけ、1階浴室天井が崩落、同等に左第10、11肋骨を折った。	46	10～ 29
10	14～ 15	道路排水溝の、U字溝コンクリート蓋の穴のすき間にハイヒールが入ってしまい転倒して、骨折、捻挫をしてしまった。	52	10～ 29
11	16～ 17	自社資材置場において、ユニッククレーンにて資材積み込み作業中に、クレーンの旋回を見ていて足元の段差に気付かず、段差下で右足を捻り、右第5趾中足骨を骨折した。	49	1～ 9
11	17～	ヤード内において、T-439清掃アスファルトのガラを入れたフレコンの上から、片付けのため防災シートで養生しながらフレコン（高さ80cm）から降りたところ、足元の草に隠れていたU字溝（幅20cm、深さ20cm）に左足を突っ込み、その際に足	60	10～

	18	首を捻挫した。当日は、本人から報告が無し。翌朝、当事者から監督に電話で、足が痛いので休んで病院に行くと報告を受けた。		29
12	13~14	被災者は、トレーラダンプのオイル交換のため、ピットにて作業をしていた。ピット上の金網を移動させようと持ち上げて移動したところ、足を踏み外して背中から転落し、その際に背中をピットの角で打ち、打撲を負った。	51	300 ~ 499

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html